

SUMMARY

No122719

<メッセージ>

本レポート(Summary no122719)が今年(2019年)最後のレポートになります。

来年(2020年)は1月6日号(no010620)からスタートします。

*米国は1月2日、3日と開いています。(1月1日は祝日です。)

今年最後のレポートです。

1週間のサマリーというより1年間のサマリーとして2019年を振り返って、「何を学んだか」、「何を習得したか」確認してほしいと思います。

今年の締めくくりとして以下のメッセージを皆さんに贈りたいと思います。

ナンバーオペレーションの数学的原理についての理解を徹底する→“数”について学び続ける

結局のところ、“数”について、また、“数”が作る世界について学び続けることが学ぶつけることが私たちに大きな成果をもたらします。

ナンバーオペレーションとは英語の“Number Operation”に由来しています。直訳的には「数の操作」という意味ですが、私に関する限り言葉以上の深い意味が含まれています。私が運営・経営してきた海外グループ(米国パートナーシップ制の法人)のチームの仲間内では単に“The Operation”(ジ・オペレーション)と呼んでいますが、それを一般向けに紹介した時の呼称を「ナンバーオペレーション」としました。

皆さんに紹介し指導しているナンバーオペレーションはそれまで居住していたロンドンからニューヨークに移った2008年に私が仲間と組んで始めたオペレーションの経験と実績を基にしたものです。“オペレーション”には「取引」の意味がありますが、レポートでは「取引」や「売買」、「売り」、「買い」ということを一切使いません。可能な限り相場や投資・金融の世界で使われている言葉を意図的に避けています。

『ナンバーオペレーションは“相場”ではない。』と幾度も繰り返して述べてきましたが、そこにナンバーオペレーションの深い本質が潜んでいます。「売り」の代わりに“マイナスオペレーション”、「買い」の代わりに“プラスオペレーション”という言葉を使っています。また、相場の世界で使われる「ポジション」という言葉の代わりに“ハンド”という言葉を使っています。「買いポジション」は“プラスハンド”、「売りポジション」は“マイナスハンド”です。

ナンバーオペレーションをスタートするにあたり私はチームのメンバー(仲間)を慎重に選びました。米国のリベラルアーツカレッジで数学や物理学を学び相場・投資の経験のない者を仲間として招きました。さらに、マネーを扱う特殊な数学としての管理会計学に長けている者を紹介してもらい仲間に加えました。

→ 学ぶ事自体が目的と、おっしゃる通り、結局のところ、
→ 知が収益を生み出し、大規模な財産を作り出す。

← ナンバーオペレーションの底が見えない無限の可能性をひいて、学び続けたい。

← 自然科学の価値観と関係はいい可。
← 精解説し可。